

FavorPrep™ After Tri-Reagent RNA Clean-Up Kit

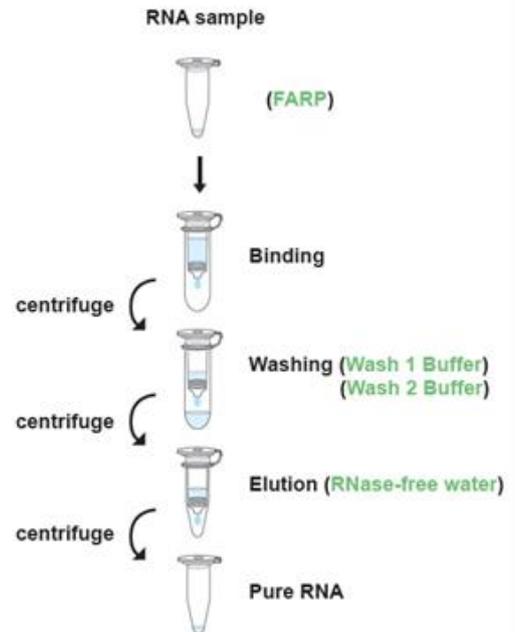
Cat: FAATR 000 (4 回分) / FAATR 001 (50 回分) / FAATR 001-1 (200 回分)

本製品は研究用です

v 230110

📌 キットの内容

	FAATR 000 (4 preps_sample)	FAATR 001 (50 preps)	FAATR 001-1 (200 preps)
FARP Buffer	1.8 ml	30 ml	80 ml
Wash Buffer 1	1.5 ml × 2	30 ml	110 ml
Wash Buffer 2	1.5 ml	20 ml	35 ml × 2
(concentrated)*			
RNase-free Water	1.5 ml	6 ml	12 ml
FARB Mini Column	4 pcs	50 pcs	200 pcs
Collection Tube	4 pcs	50 pcs	200 pcs
Elution Tube	4 pcs	50 pcs	200 pcs
*添加する 96-100%エタノール量			
Wash Buffer 2	6 ml	80 ml	140 ml
(concentrated)			



📌 基本情報

構成	シリカメンブレン法 (ミニスピナラム)
サンプル	RNA もしくは 酸素反応物: ≤100 µl
結合量	≤100 µg
回収率	85-95 %
所要時間	≤10 分

📌 重要事項

1. 操作に関連するものは、RNase-free であることを確認してください。
2. 作業はゴム手袋、白衣を着用して行ってください。
3. Wash Buffer 2 開封時にエタノール (96-100%) を加えてください。
4. オプション操作を行う場合は、希釈用緩衝液 (150mM NaCl, 1mM MgCl₂, 10mM Tris HCl, pH 7.5) で RNase-free DNase I を希釈し、最終濃度が 0.5 U/µl になるよう調製してください。

操作 ※操作前に「重要事項」をよくお読みください。

1. RNase-free Water (キットに付属) を加えて、サンプル量を 100 μ l に調整します。
* サンプル量は 100 μ l を超えないようにする。
2. 350 μ l の FARP Buffer を加え、激しくボルテックスします。
3. 250 μ l のエタノール(96-100%)を加え、ボルテックスで十分に混和します。
4. FARB Mini Column を Collection Tube へ取り付け、エタノールを添加したサンプル(沈殿を含む)を移します。
その後、最大速度(14,000 rpm または 10,000 \times g)で 1 分間遠心分離し、ろ液を捨てます。
5. <オプション>DNA のコンタミネーションを除去する場合
 - A) 250 μ l の Wash Buffer 1 を加え、FARB Mini Column を洗浄します。最大速度 (14,000 rpm または 10,000 \times g) で 1 分間遠心分離し、ろ液を捨てます。
 - B) 100 μ l の RNase-free DNase I solution (0.5 U/ μ l, お客様でご用意ください) を FARB Mini Column に加えます。その後、ベンチトップに置き 15 分間静置します。
 - C) 250 μ l の Wash Buffer 1 を加え、FARB Mini Column を洗浄します。最大速度 (14,000 rpm または 10,000 \times g) で 1 分間遠心分離し、ろ液を捨てます。
 - D) ステップ 7 へ進みます。
6. 500 μ l の Wash Buffer 1 を加え、FARB Mini Column を洗浄します。最大速度 (14,000 rpm または 10,000 \times g) で 1 分間遠心分離し、ろ液を捨てます。
7. 750 μ l の Wash Buffer 2 で FARB Mini Column を 2 回洗浄します。最大速度 (14,000 rpm または 10,000 \times g) で 1 分間遠心分離し、ろ液を捨てます。
* Wash Buffer 2 にエタノールが添加されていることを確認してください。
8. 最大速度 (14,000 rpm または 10,000 \times g) でさらに 3 分間遠心分離し、カラムを乾燥させます。
重要ステップ! : この操作は酵素処理を阻害する物質を取り除くために重要です。
9. FARB Mini Column を Elution Tube (キットに付属) に取り付けます。
10. 30-50 μ l の RNase-free Water を FARB Mini Column の膜中央に加え、FARB Mini Column を 1 分間静置する。
重要ステップ! : 効率よく溶出させるため、RNase-free ddH₂O を完全に吸着させてください。
11. 最大速度 (14,000 rpm または 10,000 \times g) で 2 分間遠心分離し、RNA を溶出します。

12. RNA を-70°Cで保管します。

🌈 トラブルシューティング

RNA の収量が少ない	
RNA がカラムに吸着されたまま残っている	<ul style="list-style-type: none"> ・溶出ステップを繰り返してください。 ・溶出に 70°Cに温めた DEPC-water を使用してください。 ・溶出する前に 5 分間インキュベートしてください。
RNA が変性している	
サンプル	プロトコールに従い、迅速に操作を行ってください。
RNase 汚染	操作中や、バッファーに RNase 汚染がないか確認してください。
精製後のサンプルがその後のアプリケーションで良い結果が出ない	
塩が残留している	<ul style="list-style-type: none"> ・Wash Buffer 2 へ 96-100%のエタノールを加えてください。 ・Wash Buffer 2 で繰り返し洗浄してください。
A260/A280 が異常な数値である	
DEPC-Water に DEPC が残留している	<ul style="list-style-type: none"> ・RNase-free Water (キットに付属) を使用してください。 ・純度測定前のサンプル希釈には DEPC-Water ではなく、10mM Tris-HCl を使用してください。